

# 夜の魚を見に行こう

ロッキーワールドではトドの寝姿を見る  
(過去の様子) =鴨川シーワールド提供



## ナイトアドベンチャー

◇千葉県鴨川市東町1464の18。ナイトアドベンチャーは20時～21時半で約1時間。7月24～28日、31日～8月4日、21～25日。計15日間。各日先着100人限定。大人1000円、4歳～中学生まで700円。予約は7月1日9時から電話受け付け。☎04・7093・4803サービス課

同水族館が1997年から始めた人気企画。「魚は寝ないものがほとんどですが、哺乳類は寝ます。うち哺乳類が多いので、寝顔を見てもらいたい」(広報企画課)

寝るといっても、その形態はさまざま。シャチやイルカは、右脳と左脳を交互に休ませる「半球半眠」。ゆっくり泳ぎながら、目も片方だけつむる。アシカは陸に上がり、体を寄せ合って眠るが、アザラシは水際にいて他の個体と触れ合うことはない。ペンギンは極寒の南極なら、体温を保つためにくちばしを脇に挟み、かかと立ちして眠る。しかし、いずれの動物たちも、外敵のいない館内では安心して、無防備な姿で眠ることもあるとか。そこも見ものだ。

魚類の水槽では、なぜか明かりをつけたままの場所もある。例えばナマズは夜行性で、真っ暗になると他の魚を食べてしまうため照明をつけておくとか。ほかにも明るい場所には理由があり、ガイドのスタッフから答えを聞いて、なるほど！と目が覚める思いも。とはいえ動物たちの目は覚まさせないよう、お静かに。(村手久枝)

限定  
**要チェック!**



昼間は、ジャンプやスマイルのパフォーマンスで歓迎してくれるシャチやイルカやアシカ、そして水槽を泳ぎ回る魚たちは、夜、いったい何をしているのか？気になったら、夜の水族館を探検に行こう。鴨川シーワールド(千葉県)では7月24日～8月25日(除外日あり)の期間限定で「ナイトアドベンチャー」を開催。7月1日から予約受け付けを開始する。

日本で初めてシャチを飼育し、ショーを公開したことで知られる。来月24日～8月25日 鴨川シーワールド